

キャリアコンサルタントにおけるコア・リフレクションの相互介入実践プログラム設計の試み

Designing a Core Reflection Practice Program
Based on Mutual Intervention among Career Consultants

星野宏^{*1} 久保田真一郎^{*1} 川越明日香^{*1} 合田美子^{*1}
Hiroshi HOSHINO^{*1} Shin-Ichiro KUBOTA^{*1} Asuka KAWAGOE^{*1} Yoshiko GODA^{*1}

熊本大学大学院^{*1}
Kumamoto University Graduate School^{*1}

〈あらまし〉 専門職の資質向上に省察が重要とされている。本稿では、国家資格キャリアコンサルタントが深い省察ができるプログラム設計を目的とする。先行研究から、深い省察に必要な要素を整理し、学習者同士の相互介入によるコア・リフレクションの実施可能性を検討し、指導者の介入要素やグループ形成、省察の評価等について整理した。結果を踏まえ、キャリアコンサルタント同士で実践可能なコア・リフレクションプログラムを設計した。
〈キーワード〉 コア・リフレクション、リフレクション、プログラム設計

1. はじめに

専門職教育において、実践を批判的に思考する省察は重要であり、個人が本来持つ資質や強み（コア・クオリティ）に及ぶ深い省察はコア・リフレクションと言われ、成長能力の育成にも寄与している（KORTHAGEN and VASALOS 2005）。教師育成において、コア・リフレクションによる専門家アイデンティティの形成（KHAZAEENEZHAD *et al.* 2018a）、専門性の発達への好影響（MEIJER *et al.* 2009）など、コア・リフレクションが専門職の資質向上に与える効果が実証されている。

一方、国家資格キャリアコンサルタント（以下、CC）は、専門性の維持と資質向上が課題となっているが、養成過程や資格取得後の更新講習において、省察能力の向上を目的としたプログラムはなく、検討の余地がある。

そこで本研究では、CCがコア・リフレクションによって深い省察ができるプログラムの設計を試みる。

2. コア・リフレクションの要件

KORTHAGEN and VASALOS (2005) は、コア・リフレクションを①具体的経験②理想の明確化③コア・クオリティの明確化④コア・クオリティの実現⑤新しい行動の試行の5段階に分け、監督的立場の指導者による介入による省察の支援を設計している。

KHAZAEENEZHAD *et al.* (2018b) は、教員養成課程でのコア・リフレクションの実践で、

学習者同士の省察を検討して共有するグループディスカッションを実施し、学習者の相互交流が、教師の専門的アイデンティティ形成や自己効力感における重要性を明らかにしている。

これらより、本研究では、CC同士の相互介入によるコア・リフレクションは可能か。可能であれば、プログラム設計に必要な要素は何かを明らかにする。

3. プログラム設計の準備

3.1. 指導者の介入

指導者の介入は、①受容、②共感、③誠実性、④具体化、⑤対決、⑥安全な場の構築⑦コア・クオリティに焦点を当てた質問が有効だとしている（KORTHAGEN and VASALOS 2005）。①から⑥は、CCの能力要件にある技法に含まれており、資格所持者であれば実施が可能である。

⑦について、CANAN (2020) は、効果的なリフレクションにおける質問プロンプトの必要性を述べている。KORTHAGEN and NUIJTEN (2022) は、コア・クオリティを明らかにする過程で用いられる7つの質問を提示しており、プロンプトに活用できる可能性がある。

3.2. グループに関する要素

KORTHAGEN and NUIJTEN (2022) は、学習者同士の省察では、メンバー間の学習成果の共有が重要であるとし、グループ形成の際に、グループ自身に学習成果を問う有効性を

示している。また、グループの安全性と相互尊重は必要だが、友好的過ぎる雰囲気は、互いに率直に向き合い辛くなると指摘している。

これらより、グループ形成においては、心理的安全性の獲得と学習成果共有の過程が必要となりそうである。

3.3. コア・クオリティの特定

コア・クオリティの特定には、指導者による介入による有用性が示されている(KORTHAGEN and NUIJTEN 2022)。これは、カウンセリングの過程でも行われているように、言語による具体化によって、はっきりと意識化されていないコア・クオリティが明確化されたと推測できる。

PETERSON and SELIGMAN (2004) は、代表的なコア・クオリティの24項目を同定しており、本省察の過程においても活用できる可能性がある。

3.4. 省察の評価

KORTHAGEN and NUIJTEN (2022) は、自分の省察の仕方について省察するメタ・リフレクションによって、省察の発達を強化できるとしている。さらに、指導者による介入の最終目的である本人による自律的な省察に、メタ・リフレクションが必要だとしている。

以上をまとめ、相互介入のコア・リフレクションのプログラムには、次の要素を用いる必要性が明らかにできた。

- ・カウンセリングスキル
- ・省察の質問プロンプト
- ・グループの心理的安全性
- ・グループによる学習成果の検討
- ・コア・クオリティのリスト
- ・メタ・リフレクションの機会

4. プログラムの設計とまとめ

以上を踏まえ、表1の通りプログラムを設計した。本研究では、設計研究の初期段階であり、今後はID専門家とキャリア領域の専門家レビュー、形成的評価によって妥当性を評価し、実地テストによって有用性を分析する。

参考文献

CANAN,C. (2020) The effect of structured journals on reflection levels: With or without question prompts?. Australian Journal of Teacher Education, **45**(2):23-43.
 KHAZAEENEZHAD,B., TAVAKOLI,M., and AMIRIAN,Z. (2018a) Core Reflection as a Way Towards Integrating Theoretical

表1 コア・リフレクションプログラム

事前学習	省察に関する言語情報の習得と支援事例の自己省察 ①具体的経験
グループ形成	グランドルールの認識とグループでの学習成果の検討
省察自己評価	ルーブリックを用いた自身の省察評価 ②理想の明確化
リフレクションの深化	ピア・インタビュー ③コア・クオリティの明確化
コア・クオリティの特定	コア・クオリティリストを用いたフィードバック ③コア・クオリティの明確化
メタ・リフレクション	省察過程の省察
行動目標	自身の省察スキル向上に向けた行動目標 ④コア・クオリティの実現
事後学習	各現場での自己省察と自己評価 ⑤新しい行動の試行

Knowledge and Pedagogical Practice in the Iranian Context: The Case of Prospective Language Teachers, Teaching English Language. **12**(1) : 61-87

KHAZAEENEZHAD,B., TAVAKOLI,M., and AMIRIAN,Z. (2018b) Making Sense of Core Qualities to Sustain Professional Development through Core Reflection Practice, Teacher Education for Sustainability. **20**(1) : 93-105

KORTHAGEN,F., and NUIJTEN,E. (2022) The Power of Reflection in Teacher Education and Professional Development. Routledge

KORTHAGEN,F., and VASALOS,A. (2005) Levels in reflection: core reflection as a means to enhance professional growth, Teachers and Teaching: theory and practice. **11**(1) : 47-71

MEIJER,P.C., KORTHAGEN,F., and VASALOS,A. (2009) Supporting presence in teacher education: The connection between the personal and professional aspects of teaching. Teaching and Teacher Education, **25** : 297-308

PETERSON,C., and SELIGMAN,M. (2004) Character Strengths and Virtues: A Handbook and Classification. OXFORD UNIVERSITY